

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 11 月 20 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490500208		
法人名	医療法人エム・エム会		
事業所名	ぐるーぷほーむ九嶺		
所在地	呉市本通一丁目1-1 メガネ橋プラザ4階 (電話) 0823-22-9090		
自己評価作成日	平成24年10月26日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=3490500208-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成24年11月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>住み慣れた呉市中央部にあるマンション4階のグループホーム、新年茶話会、お花見、納涼会、クリスマス会などの季節の行事や、お誕生日会など家庭的な雰囲気の中で地域との交流を図り、ご家族との連携のもと可能な限り自立した生活を送って頂きます。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>このホームは、マンションの限られた空間を、トイレのドアを黄色にするなどの工夫により、明るく開放的で快適な空間としている。また、リビングに障子を用いたり居室の引き戸を和風にするなど家庭的な雰囲気を演出している。この環境の中で、入居者同士は仲良く談笑し、和やかに和気藹々と生活されている。この施設を「グループで暮らす家」とし、入居者がそれぞれ自分のペースで生活できるように、職員は支援している。また、入居者は隣接する病院のリハビリ施設に通うことを楽しみにしており、外出を兼ねて通院している。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	自立した生活を送るのが困難な方を、家庭的な環境の下で、可能な限り自立した成果湯を営むことができるように支援していく。	毎朝申し送り時に理念を唱和し、共有するように努めている。また、年間目標を設定し達成状況を職員全員で評価している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣の会館での催し物やあ行事には、積極的にさん参加している。地域住民によるミニミニコンサートには、家族の方にも参加して頂き、交流に取り組んでいる。	入居者は、近隣の福祉施設の「七夕まつり」に参加したり、通院するリハビリ病院の新年茶会に出席し地域住民との交流を深めている。また、ホームの納涼会には、地域のボランティアによる演奏を家族と共に楽しみ交流を深めた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	2か月に一度開催する運営推進会議には、呉市福祉保健課や包括支援センターの職員の方々にも同席頂き、地域の高齢者の方々の相談に乗ってもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	・呉市福祉保健課や包括支援センターの職員の方々にも同席頂き、地域の高齢者の方だたの相談に乗ってもらっている。 ・ご家族のご意見や行政のアドバイスをサービスに活かしている。	運営推進委員会儀は、行政代表・地域住民代表・ホームの家族が交代で参加し、2ヶ月に1回開催されている。会議では、地域の高齢者の状況について行政担当者が相談に乗ることもある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	協力関係は良好である。	困難事例や介護保険に関することで、今まで市に相談することはなかった。ホームの運営推進会議には地域包括支援センターの職員に出席して頂いているので、いつでも相談できる環境は整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をしないケアを実践している。安全を確保し、気を配りながらご利用者に自由な暮らしを提供できるように、玄関や個室の掃出しは開錠している。</p>	<p>身体拘束をしないケアについては、年に1回研修し皆で再確認している。本人の要望により、設置した立ち上がりの為のベッド柵も「拘束」と理解し対応している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>身体や言葉の暴力など、日常より虐待にならないよう、職員間で配慮し注意し合っている、</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在成年後見制度の利用者はおられないが、その知識を得る機会を研修などで学んでいる。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>十分な説明をして頂き、納得を得てから契約して頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議には出来るだけ多くのご家族の参加を呼び掛けている。 ・ご家族の訪問時にはスタッフが、ご要望など伺うようにしている。 	<p>運営推進会議の家族代表には、交代で参加してもらい、ご意見を聞いている。また、家族の訪問時には職員が要望に耳を傾け、出された要望は連絡ノートに記載し職員全員で共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・管理者とスタッフは、毎日ミーティングを行い、管理者は現場スタッフの声を取り上げるようにしている。</p>	<p>毎日2回行われる職員引継ぎミーティングには、管理者も参加し、職員の意見を聞き、問題点があれば解決している。職員の要望で、通院用の車いすを追加して準備したこともある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・法人の就業規則に沿って、向上心を育成し働きやすい環境づくりに努めている。 ・勤務表作成には、個人の希望日を優先的に取り入れている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>院内外の研修参加を勧めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>・広島県シルバーサービス振興会に入会し、介護保険サービス事業所間の交流を図っている。 ・共同で研修会を開催している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご本人の希望や意見を傾聴し、受け止め、不安を改善し、安心感をもって生活して頂くように信頼関係を築くように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族の意見を傾聴し、受け止め、不安を改善し、安心感をもって生活して頂くように信頼関係を築くように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入所前にご本人とご家族に見学して頂き、双方納得の上入所を決定する。 ・必要な支援を見極め、ご本人とご家族の要望に少しでも多く応えるべき、出来る限りの対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご本人が出来ることはなるべく行っていた頂き、グループホーム内の役割を持って頂くようにしている。リビングなどでは入所者間や訪問者との交流を図っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>・ご訪問時や電話などで、家族とのコミュニケーションをこまめに図っている ・通院などで家族の協力が得られない場合は、スタッフが一時援助したりしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご家族はじめ、友人の訪問は大歓迎しています。来客のない日はありません。</p>	<p>今まで利用していた美容院やかかりつけ医に引き続き通えるように、家族と一緒に支援している。知人や友人が訪問されたら歓待し、再度訪問していただけるように暖かい雰囲気を演出している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	毎食後、おやつ時、シーツ交換日はリビングに集まっていたり、食事や歓談して頂く時間を設けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院された場合、ご家族に病状や様子の問い合わせをしたり、可能な限りお見舞いに伺う。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	住み慣れた場所で、自分らしく暮らしていけるように、ご本人の希望や意向を大事にし支援している。	家族からの情報や入居者同士の会話の中から、入居者の思いを職員は把握し、それを連絡ノートに記入し共有している。その情報から、歌の好きな人にホームのコンサートで、皆の前で歌を歌ってもらったこともある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人やご家族に、プライバシーに配慮しつつコミュニケーションをとり、これまでの暮らしぶりの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	・ご本人やご家族に、プライバシーに配慮しつつコミュニケーションをとり、これまでに暮らしぶりの把握に努めている ・入所後は日々の生活の中から、心身状態や有する機能などの現状把握に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメントやモニタリングを繰り返して、ご本人やが家族の要望にも応じて見直しをしつつ介護計画を作成している、</p>	<p>ケアリーダーはモニタリングについて事前に職員から話を聞いている。ケアカンファレンスの際にはその意見を参考にし、家族の要望を加味してケアプランを検討し作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>申し送りをしてスタッフは情報を共有し、実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その時々ニーズに応じて、多様な支援の方法を備えて多機能化に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>安全で豊かな暮らしを楽しむ事が出来る様に支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>適切な医療が受けれる様に支援している。</p>	<p>入居者はそれぞれのかかりつけ医に受診し、家族から受診情報を提供してもらい、職員は入居者の健康状況を把握している。入居者の体調不良の際には、ホームの協力医に相談し対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>ご利用者の状況を看護師に報告、相談し、適切な受診や看護が受けれる様に支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院関係者との情報交換や相談を密にしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>当施設の状況を踏まえ、どこまでの支援ができるか、その都度ご本人やご家族との話し合いで決定していく。</p>	<p>ホームとしては、現在のところ、職員の配置等が十分に整っていないので、看取りまでの対応はできない。しかし、ご家族の要望や支援について相談できる体制は整っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>あわてずに確実かつ適切に行動が取れる様に、定期的な訓練を行い技術を習得している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>確実な避難誘導が出来る方法を全職員が身に付けている。</p>	<p>市の初期消火大会参加者や防災管理者が指導する避難訓練を年に2回行っている。</p>	<p>今後は、特に夜間の避難体制について消防署のアドバイスを受け、ホームとしてのマニュアルを作成し災害に備えていただきたい。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。	職員は、ホームが所属する法人の「プライバシー・接遇」の研修に参加し認識を新たにしている。また、管理者は、上から目線の話し方をしない、できるだけ敬語を使うようにと指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	希望や願いを引き出したり、自己決定ができる様に働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人のペースに合わせて暮らしの支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・御本人に希望によって、馴染みの美容院の利用や、訪問の理容院を利用して頂く。 ・衣服類はご家族様と買い物して購入して頂く。 ・就寝時はパジャマに着替えて頂く。 		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者が出来る範囲で手だって頂く。(例)ラチョンマットを敷く。箸を並べるなど。 	食事アンケートを行い、入居者の嗜好・要望を把握するよう努力している。誕生日には、ケーキの飾り付けをしたり、たこ焼きを一緒に作ったりと皆で楽しんでいる。また、節分や花見などには行事食を用意し季節を味わってもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>カロリー摂取や水分補給に留意し，ご本人の嗜好や習慣，様子を把握し支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>ご本人の出来るところは見守りながらやってみて頂き，出来ない部分は介助を行い口腔ケアをしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄のパターンを把握し，トイレ誘導を行う。 ・日中はおむつを使用せず，また夜間は出来るだけポータブルトイレを使用しないよう支援している。 	<p>入居者一人一人の排泄パターンを把握し，トイレ誘導を行っている。夜間は，できるだけポータブルトイレは使用せずトイレで排泄するように支援している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食事にヤクルトを飲んでいただき，水分補給にも十分配慮している。 ・便秘がちの方は，ご本人の希望でヨーグルトやオリゴ糖を摂取して頂き，出来るだけ下剤に頼らないようにしている。 		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴日は決められているが，ご本人が拒否された場合は無理強いせず，翌日や希望日に入浴支援している。</p>	<p>週に2回入浴するようにしている。本人が入浴を拒否される場合は無理強いせず，別の日に入浴してもらうよう臨機応変に対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	居室内でテレビを觀賞されたり、ご本人の生活習慣に応じて、ベッド上で休息や十分な睡眠が取れる様に支援している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフは薬について理解し、配薬時には名前を何度の確認し、誤薬や飲み忘れを防いでいる。 ・医療機関には情報を提供し、治療や投薬調整に活かしていただいている。 		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯物を畳んで頂くなど、一人一人の出来る範囲での役割を果たして頂いている。 ・新年茶話会、お花見、納涼会、ドライブ、クリスマス会、誕生日会では、行事を通しての楽しみや気分転換等の支援をしている。 		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	近所の祭りにお連れしたり、かかりつけ医の通院援助、ご家族の付き添いのもとに受診されたり、買い物等の外出など、支援している。	入居者は隣接する病院のリハビリに行くことを楽しみにし、外出を兼ねて通院している。買い物を希望される方には、個別対応の外出をしている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族合意の上、お金を預かり、出納長で管理している。 ・ご家族には訪問時や電話で残高を報告している。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人の希望があれば電話で話していただいたり、手紙のやり取りなど、外部との交流を積極的に支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	不快な思いを招かない様に、特に共有のトイレやふろ場などは清潔を保ち、集まることが多いリビングのテーブルや玄関には、季節の花を飾るなど、居ながらにして、季節の移り変わりを感じて頂く事ができるように心がけている。	換気をこまめに行い、リビングや居室の清潔を保つように心がけ、毎日清掃している。季節の移り変わりを感じてもらうように花を飾るなど心がけている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングのテーブル席は、2か月ごとに席替えをして利用者間の交流を図り、不安やストレスのない居場所づくりに努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染の家具や置物など、邪魔にならない範囲で、ご本人が居心地良く安心して過ごせる環境づくりを工夫している。	ホームの居室は、「自分の部屋」として、今まで使っていた家具や家族の写真を飾り、居心地のよい空間となるようにしている。	
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	安全かつ生活が送れるような環境づくりを工夫している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ぐるーぷほーむ九嶺

作成日 平成25年1月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	介護職員の教育（経験の少ない職員もいる）	確実に適切な行動が取れるように技術を習得し実践力を身に着ける	定期的な訓練や指導を行い、ともにスキルアップを図る	1年間
2	49	高齢の為外出するのが億劫になっておられ、居室のベッドで休息しておられることが多い	買物や外食の機会を増やし、気分転換を図る	デイケアの車を借りて近くのスーパーなどへ外出する	1年間
3	34	入居時に比べ歩行や起立が不安定になっておられ、入浴時の浴槽への出入りが難しい	安全で安心な入浴介助を行う	福祉用具の購入を検討する	2ヶ月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。